

令和 5 年度 第 2 回安全・安心なまち部会

今後の取り組み検討にあたり、ご意見をうかがいたい内容

【災害への備えと行動について】

前回の部会では、5月5日の石川県能登地方を震源とする地震に関するニュースなどを見て、委員のみなさまが各々どのように感じたのか、また、この地震を機会として災害に備えるためにしたことやしようと思ったことなど、ご意見やお考えをお伺いしました。

今回の部会ではさらに議論を深めるべく、最近の大雨などによる水害や台風など災害時の備えと行動について、範囲を広くご意見やお考えをお聞かせ願えればと思っております。特にここ数年では、線状降水帯などの集中豪雨により、河川氾濫などの被害が毎年のように発生しています。身近なところでは、6月2日に梅雨前線と台風2号の影響による大雨により、線状降水帯が発生し、大和川に近い市内南側の区域では警戒レベル3が発令されそうな状況でした。幸い淀川や神崎川の氾濫のおそれはありませんでしたが、大阪市内でも実際に線状降水帯が発生し、5月5日の地震よりも関心が高かった方も多いと思いますので、委員のみなさまが各々どのように感じたのか、また、どのような情報が発信されたらよいかなどについてご意見やお考えをお聞かせください。

【認知症の人にやさしいまちづくりについて】

- ・認知症有病率の高い85歳以上人口の増加に伴い、認知症高齢者数の増加が続いています。
- ・2025年には、65歳以上高齢者のうち5人に1人が認知症、軽度認知症も含めると4人に1人が認知症およびその予備軍となることを見込まれています。
- ・認知症は歳をとれば誰でもなる可能性がある身近な病気です。誰もが認知症の人をささえる側として、また、認知症の当事者として、認知症にかかわり、認知症と共に生きる時代になりました。
- ・大阪市では2018年に、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現をめざし、あらゆる世代や立場の人が協力して「認知症の人にやさしいまちづくり」に取り組むことを宣言しました。
- ・委員の皆さまご自身や大切な人が認知症になったとき、あなたのまちにどのようなものがあればいいと思いますか。